

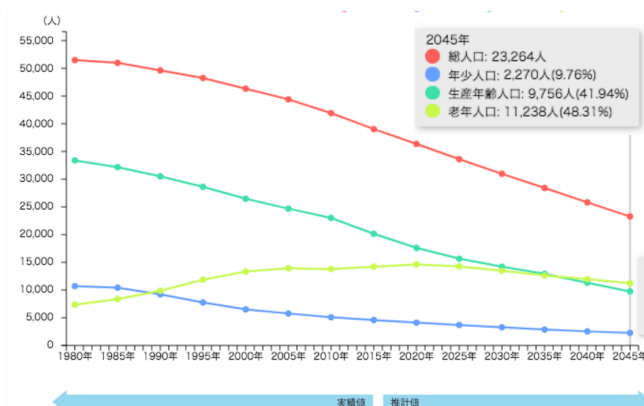
事業報告書

2023年4月1日から
2024年3月31日まで

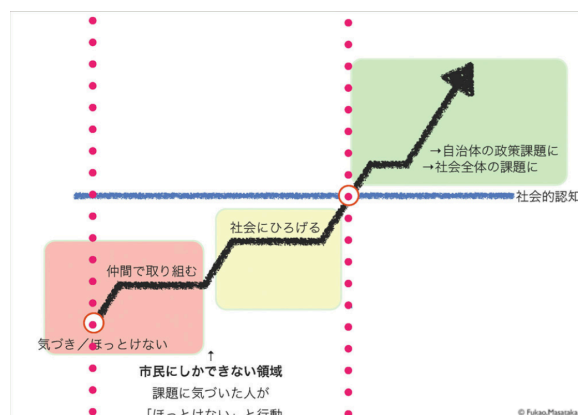
公益財団法人うんなんコミュニティ財団

【2023年度の環境認識及び事業の目的】

島根県雲南市では、従来からの少子高齢化、核家族化、単独世帯数の増加が進み、今まで家族の中や近隣住民で協力して担い合っていたことも抱えきれない状態になっている（介護や子育て、通院や草刈り等）。社会課題のうち、社会的に認知されている大きな課題や命に関わる重大な課題は税金を投入できたり、企業が事業として成り立つほど顧客が存在していることで解決に結びつくが、そもそも社会的に認知されていない小さな課題、社会的に認知がされていても対象者の人数が少ない（そのため緊急性も低いと判断されてしまう）、対象者が資金等を支払うことが困難等は解決に結びつくことが困難である。このような社会的認知が小さい課題は、複数の課題が絡んでいるために関係者間での役割分担が難しい場合もあり、現在の縦割りや分業社会ではその狭間に落ちてしまうため、複数の団体や関係者間での連携、当事者を応援する・応援し合うコミュニティづくりが重要である。

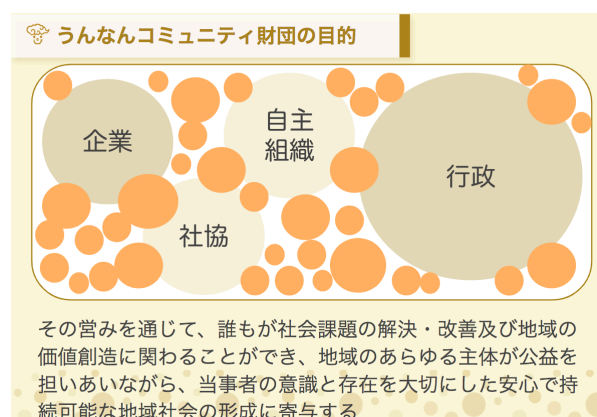
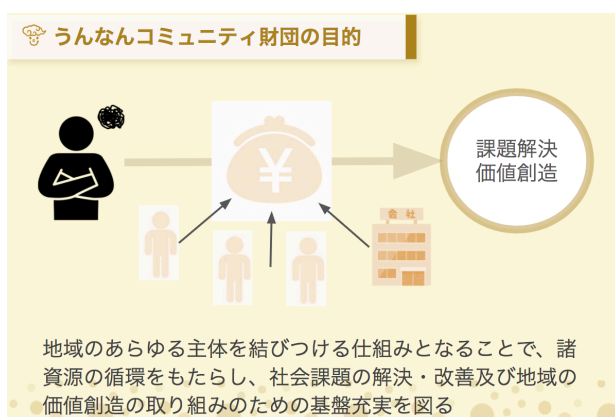


雲南市の人口推移 (RESASより)



(©Masataka Fukao)

弊財団の目的は「多様化・複雑化していく社会課題に対して、その解決・改善を図るために活動する雲南市内の市民団体等と、その解決・改善を図るために諸資源の提供や自らの参画を望む個人、企業、団体等を結びつける仕組みとなることで、諸資源の循環をもたらし、社会課題の解決・改善及び地域の価値創造の取り組みのための基盤充実を図る。また、その営みを通じて、誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができ、地域のあらゆる主体が公益を担いあいながら、当事者の意識と存在を大切にしたい安心で持続可能な地域社会の形成に寄与すること」である（定款第3条より）。



【2023年度事業の概要】

＜公益目的事業＞

1. 事業指定助成事業（公益目的事業区分**13**助成）
 - ・市民のプランを発表し仲間や資金を集める場の企画運営、発表に伴う相談支援等
資金調達実施件数13件、寄付者532名、寄付総額5,371,477円
（ガバメントクラウドファンディング3件を含む）
2. 基金の設置運営事業（公益目的事業区分**13**助成）
 - ・うんなんコミュニティ財団支援基金
 - ・U25応援基金
 - ・その他の助成プログラム：休眠預金等活用事業
休眠預金等活用事業（2020年度採択分）：資金分配団体のまとめ
休眠預金等活用事業（2021年度採択分）：4団体の伴走支援、地域課題整理や繋がり
の可視化
3. ワークショップ及び研修・イベント等開催事業（公益目的事業区分**4**体験活動等）
 - ・新型コロナウイルスワクチン予約お助け隊プロジェクト
 - 連携：50団体
 - 取次件数：28件
 - ・雲南市環境フォーラム企画運営・勉強会等実施事業（雲南市受託事業）
 - フォーラム開催：3回
 - ごみに関する勉強会開催：32回
 - ワークショップ開催：26回
 - コンポスト設置：130基
 - 連携団体：26団体
 - 参加者延：536名
 - 取り組み促進（脱炭素アプリSPOBY）：利用促進、運営、特典交換、出展等
 - アプリ利用：414人
 - 総脱炭素量：3710.2kg（2023年5月～2024年2月）
 - ・資源循環の実践支援等
 - 資源循環の人材育成：10人
 - 勉強会等の実践支援：7件
4. 情報収集・発信事業（公益目的事業区分**6**調査、資料収集）
 - ・広報
 - ・視察受入、講師派遣 7件

＜収益事業＞

1. 市民活動促進支援事業
市民活動の拠点として三日市ラボの管理運営

＜法人管理＞

- ・管理システムの導入、強化
- ・一般事業主行動計画の策定（雇用環境整備）

【事業活動】

＜公益目的事業＞

1. 事業指定助成事業（公益目的事業区分13助成）

市民のプランを発表し仲間や資金を集める場の企画運営、発表に伴う相談支援等

＜事業の目的＞

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

＜事業で目指す状態＞

- ・プラン共有発表会を通じて地域の主体が繋がっている
- ・プラン共有発表会后、繋がった人どうして応援し合っている
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わっている

＜事業の成果＞

- ・資金調達実施件数／5件
- ・寄付総額／3,258,226円
- ・寄付者／417名

クラウドファンディング実施条件は昨年度に引き続き本人を含めプロジェクトを推進する仲間が5名以上いることとし、実施団体・コミュニティで広報、寄付の呼びかけ等を行った。また、弊財団として目的や手段の明確化、目標設定、広報等のサポートを実施した。

	時期	プラン名・団体名	寄付金額・寄付者
1	2023年 5～7月	木次駅前商店街地域における空き家活用のモデルづくり (任意団体／dustbox)	■ 寄付金総額 655,000円 ■ 寄付者 64名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/dustbox
2	2023年 8～9月	「石照の庭～堀江洋伸の歩んできた道～」をあなたの力で刊行させて！ (任意団体／「雲南に生きる」出版プロジェクト)	■ 寄付金総額 939,000円 ■ 寄付者 110名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/sekishononiwa
3	2023年 8～10月	きすきの駅前を元気にしたい！ (任意団体／「きすき駅前秋の賑わい市」実行委員会)	■ 寄付金総額 395,000円 ■ 寄付者 74名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/kisukinigiwaiichi
4	2023年 9～11月	うなんプログラミングFes.2023を開催したい！ (一般社団法人エンター)	■ 寄付金総額 66,000円 ■ 寄付者 8名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/programmingfes2023
5	2023年	永井隆博士のふるさと三刀屋町飯石地区で「平和」を考えるワーク	■ 寄付金総額 29,250円 ■ 寄付者 10名

	10～11月	ショップを開催したい！ (任意団体／えす・ぴーす)	■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/iishiheiwa
6	2023年10～12月	雲南市非公式キャラクター雲子ちゃんの着ぐるみを作り、雲南市のPRに活用したい！ (任意団体／雲南市市民活動団体雲子ちゃんの会)	■ 寄付金総額 296,500円 ■ 寄付者 55名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/unkotyan
7	2023年5月～2024年2月	希少生物ギフチョウが生息する自然豊かな烏帽子掛けハイキング道を次世代へ受け継ぎたい！ (任意団体／下熊谷の地域遺産を守る会)	■ 寄付金総額 25,000円 ■ 寄付者 4名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/hiking2023
8	2024年1～2月	映画館のない雲南市で地域や世界の課題と向き合う映画を毎月自主上映！初回は日本を代表する報道写真家「長倉洋海」さんのドキュメンタリー映画【鉛筆と銃】を長倉さんをゲストに迎えて開催したい！ (任意団体／フクミミ)	■ 寄付金総額 269,727円 ■ 寄付者 56名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/fukumimi
9	2023年3月	雲南の子ども達に夢中になれるものを見つけてもらいたい！ (一番社団法人エンター(ピコテラス))	(3月31日時点) ■ 寄付金総額 28,000円 ■ 寄付者 5名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/picoterrace
10	2023年3月	雲南ライフのコンテンツを作り出し、雲南の良さを世の中に発信したい！ (権 智賢)	(3月31日時点) ■ 寄付金総額 48,000円 ■ 寄付者 7名 ■ 詳細 https://www.unnan-cf.org/blog/bound
11	2023年10月～2024年2月	「孤独な子育て」から、ママ達を救いたい！ (任意団体／mama's smileはぐ)	(ふるさと納税を活用したクラウドファンディング) ■ 寄付金総額 687,000円 ■ 寄付者 37名 ■ 詳細 https://furusato-forgood.jp/projects/000024
12	2023年10月～2024年2月	発達障害でも「高卒資格」を取得できる社会 (一般社団法人みかた麴社)	(ふるさと納税を活用したクラウドファンディング) ■ 寄付金総額 1,564,000円 ■ 寄付者 85名 ■ 詳細 https://furusato-forgood.jp/projects/000020
13	2023年10月～2024年2月	お味噌づくり体験で、食の大切さを伝えたい (任意団体／じねんにみそ)	(ふるさと納税を活用したクラウドファンディング) ■ 寄付金総額 369,000円 ■ 寄付者 17名 ■ 詳細

		https://furusato-forgood.jp/projects/000030
--	--	---

2. 基金の設置運営事業（公益目的事業区分13助成）

<事業の目的>

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす

<事業で目指す状態>

- ・基金を通じて地域の主体が繋がっている
- ・地域の資金が地域の中で活用されている

<事業の成果>

- ・基金の運営／3件

(1) うんなんコミュニティ財団支援基金

- ・目的: 地域の資源循環や公益活動の基盤をつくっていく弊財団の活動の支援
- ・基金設置者: 公益財団法人うんなんコミュニティ財団
- ・寄付件数 12件
- ・寄付金額 533,025円

(2) U25応援基金

- ・目的:
- ・基金設置者: 公益財団法人うんなんコミュニティ財団
- ・寄付件数 1件(匿名)
- ・寄付金額 4,500,000円
(総額500万円のうち、50万円を運営費として(1)基金へ)
- ・基金の活用方法 2024年度以降3年で活用。助成事業は毎年公募審査する。

(3) その他の助成プログラム: 休眠預金等活用事業

休眠預金を活用した助成及びプログラムオフィサーによる伴走支援を実施。
 実行団体と毎月1回以上、また必要に応じて随時ミーティングを実施し、事業の進捗確認や情報の整理、成果と活動が繋がっているか、事前・中間・事後評価の実施や助成終了後の戦略について等協議した。同様にコンソーシアム及びJANPIAとも毎月1回以上のミーティングを実施した。
 また、実行団体へは必要に応じて事務サポートや組織の基盤強化に必要な助言、コンソーシアム(資金分配団体、実行団体)間での学び合い(オンライン及び視察)等を実施した。

<事業の目的>

- ・国や地方公共団体が対応困難な社会課題解決を図る
- ・民間公益活動の担い手育成と民間公益活動に係る資金調達の環境整備

<事業で目指す状態>

- ・社会課題解決のための自律的・持続的な仕組み構築
- ・民間公益活動実施団体の資金的自立と事業の持続可能性の確保

<テーマ(東近江・南砺・雲南コンソーシアム共通)>

「孤立する人と地域をつなぐ」

・資金分配団体のまとめ

「社会的困難者を支えるローカルアクション」

・実行団体:4団体

	事業名	内容
1	高齢者の移動支援: 走れ「よしそい号」	<ul style="list-style-type: none">■ 団体名: 躍動と安らぎの里づくり鍋山■ 内定助成額: 7,980,000円■ 事業の直接対象者: 鍋山地区内の65歳以上(特に免許のない人)■ 事業概要 時間に縛られずにちょっとした距離の移動からサポートできる柔軟な移動方法として有償運送の計画をたて、移動の不便さから外出困難になる現状を変えていくことで65歳以上で移動に困っている方に地区内の移動支援を行う。■ 活動進捗(2023年度、一部抜粋)<ul style="list-style-type: none">・有償運送マニュアル完成・運転者の資格を取得している人数: 9名・有償運送の利用、市民バスとの接続等の窓口の設置・有償運送の利用等のチラシポスター掲示: 5箇所・利用登録者: 53名・利用者: 延497名
2	地域全体で子どもを育て、子どもが育つ中で大人も交流する「地域まるごと子育て縁」	<ul style="list-style-type: none">■ 団体名: Community Nurse Company 株式会社■ 内定助成額: 15,725,600円■ 事業の直接対象者: 雲南市内在住で、近隣に血縁・地縁が乏しいために子育てのサポートを得にくい15歳以下の子どもがいる家族世帯■ 事業概要 近隣に血縁・地縁が乏しく、子育てのサポートを得にくい家庭に対して保育・教育サービスを提供し、有事に頼りあえる共助のネットワークを構築する■ 活動報告(2023年度、一部抜粋)<ul style="list-style-type: none">・直接対象者と繋がっている: 3名・地縁血縁はあるが子育ての悩みを抱え、孤立しがちな世帯との繋がり: 9名※直接対象者であるかどうかを聞くことで心の距離が離れる可能性が高いため、ご本人からの言葉で判断・連携事業者と、直接対象世帯(潜在受益者)の紹介がなされる関係を築いている<ul style="list-style-type: none">- 情報共有回数・話し合いの実施回数: 各24回- 直接対象者の紹介があった団体数: 2団体・地域まるごと子育て縁のネットワークがある<ul style="list-style-type: none">- 日常的に来縁する地域住民の人数: 3名- イベントの手助けなど具体的に関わってくださった地域住民の人数: 43名- LINE登録者: 107名(直接対象者以外を含む)- 子育て縁らしい事例が整理できている: 5件
3	生活不活発病を防ぐ食の見守りネットワーク	<ul style="list-style-type: none">■ 団体名: あそびばキッチン・コンソーシアム(幹事団体: あそびばキッチン実行委員会)■ 内定助成額: 12,782,500円■ 事業の直接対象者:■ 事業概要 「生活不活発病」を食とアウトリーチで支えるネットワーク事業～生活不

		<p>活発病(社会的、身体的、心理的に虚弱の状態)が懸念される方(主に高齢者)に、栄養教室や食品の移動販売を通じて、各々の身体状況に適した食を選ぶ力を養い、食生活を見守るアウトリーチ型の活動を実施。</p> <p>■活動進捗(2023年度10月末時点、一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防に関する活動団体・人材のニーズ把握のためのヒアリング:38人 ・高齢者の健康や食を支える多様な人材が交流する場の回数と参加人数:5回・35人 ・継続する協働活動が見込まれる団体数:7団体 ・対象者の困りごと・興味・関心・地域活動への意欲の把握(件数):55件 ・対象者の生きがい創出のコーディネート件数:4件
4	学生が希望を持てるまちのキャリアセンター	<p>■ 団体名:一般社団法人umi</p> <p>■ 内定助成額:5,474,400円</p> <p>■ 事業の直接対象者:地域社会で学び実践したい大学生</p> <p>■ 事業概要</p> <p>大学生が在学中から地域社会と関わる機会を提供することで、大学生は自身のキャリアへの不安を払拭し地域社会に希望を持てるように、また大学生に刺激を受けた地域住民も成長し新たな活動が生まれるように3つの点で支援していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 気軽に相談できる窓口の設置及びサポート 2. 地域と大学生が目指す方向性を共有し活動・成長できるプログラム実施(企画・運営) 3. 地域住民と大学生の繋がりを取り持つ <p>■活動報告(2023年度、一部抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口に来た大学生の数:133名(実数71名) ・設置窓口を通じ地域に送り出された大学生:94名(実数44名) ・地域社会で活躍する自分自身のイメージを言語化できた大学生の人数:39名 ・地域社会で活動するハードルが下がった大学生の人数:25人 ・ロールモデルとなる地域住民を見つけることができた大学生の数:30人 ・トライアルによって学生からポジティブな影響を受けた組織の数:企業2件、地域自主組織1件

3. ワークショップ及び研修・イベント等開催事業(公益目的事業区分4体験活動等)

<事業の目的>

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業で目指す状態>

- ・事業を通じて地域の主体が繋がっている
- ・地域の人材や情報が地域の中で循環している

<事業の成果>

(1)新型コロナウイルスワクチン予約お助け隊プロジェクトの実施

主に地域の高齢者の方々からの新型コロナウイルスワクチンの予約が困難であるという声を受け、課題を共有した。2022年度に引き続き、2023年度も対象者の電話の取次ぎ等のサポートを実施した。

- 連携:50団体
- 取次件数:28件

(2)雲南市環境フォーラム企画運営・勉強会等の実施

- ・雲南市環境フォーラム企画運営・勉強会等実施事業（雲南市受託事業）
 - フォーラム開催:3回
 - ごみに関する勉強会開催:32回
 - ワークショップ開催:26回
 - コンポスト設置:130基
 - 連携団体:26団体
 - 参加者延:536名
 - 取り組み促進(脱炭素アプリSPOBY):利用促進、運営、特典交換、出展等
 - アプリ利用:414人
 - 総脱炭素量:3710.2kg(2023年5月～2024年2月)
- ・資源循環の実践支援等
 - 資源循環の人材育成:10人
 - 勉強会等の実践支援:7件

4. 情報集約・発信事業(公益目的事業区分6調査、資料収集)

<事業の目的>

- ・地域のあらゆる主体を結びつける仕組みになる
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業で目指す状態>

- ・地域の声や課題が可視化されている・知ることができる状態になっている
- ・情報集約・発信を通じて地域の主体が繋がっている
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業の成果>

- ・SNSでの広報(facebook 1,985人、Instagram 694人、X 403人)
- ・広報物の配布(弊財団関係者約1,300名、市内関係者へのヒアリング時などの配布)
- ・LINEのグループチャット「うんなんコミュニティ財団」参加数73名
- ・視察の受入、講師派遣 7件

視察受け入れ・講師派遣先など	内容
雲南市地域振興課 協働助成金担当者向け研修	コミュニティ財団について、クラウドファンディング事例紹介
持続可能社会推進コンサルタント協会	ごみ削減の取り組み紹介
全国コミュニティ財団協会 ドラマチック(はたコミュニティ財団)	うんなんコミュニティ財団の立ち上げについて、現在の取り組みなど
南砺幸せ未来基金	市民活動応援事業審査委員長
全国コミュニティ財団協会 (休眠預金公募説明会@鳥取)	主な事業について
雲南コミュニティキャンパス(U.C.C.)	コミュニティ財団について、主な事業につ

	いて
全国コミュニティ財団協会(全国大会)	休眠預金事業について

その他、三日市ラボ訪問者(市民、行政関係者、2階利用者視察等)や勉強会時等に弊社財団について説明

<収益事業>

1. 市民活動促進支援事業

市民活動の拠点として三日市ラボの管理運営を実施

<事業の目的>

- ・市民活動団体等の活動の場の提供
- ・諸資源の循環をもたらす
- ・誰もが社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができる

<事業で目指す状態>

- ・三日市ラボの場を通じて地域の主体が繋がっている
- ・三日市ラボの場を通じて社会課題の解決・改善及び地域の価値創造に関わることができている

<事業の成果>

- ・利用者／延1494人(2023年4月～2024年3月)
- ・視察の受け入れ、2階利用者の関係者同士、一般利用者(市内外)が、仕事やプライベート、日常の課題感や関心ごと等を気軽に話し合い、緩やかに混ざり合う場となっている。
- ・イベントなど
 - 2階利用者主催の勉強会等
 - まつりでの施設開放(さくらまつり・えびすまつり)
- ・取材
 - フコク生命
- ・その他
 - おやさいクレヨン展示(フコク生命との連携)

<法人管理>

- ・ガバナンスコンプライアンスについて研修受講(個人情報保護、内部通報等)
- ・法人運営、管理システム、経理等のバックオフィス支援について一般社団法人全国コミュニティ財団正会員の公益財団法人京都地域創造基金より支援・指導を受け実施。
- ・一般事業主行動計画の策定(雇用環境整備)

以上